

第21回 森林(もり)は友達! は友達! 作文コンクール

東京事務所

3月9日、森林作文コンクール実行委員会(一般社団法人東京林業土木協会と関東森林管理局東京事務所で構成)主催の「第21回森林(もり)は友達!作文コンクール」の表彰式が都内のホテルで行われました。

この作文コンクールは、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県に所在する森林管理署、高尾森林ふれあい推進センター等が行った森林教室や体験林業等に参加した小学4〜6年生を対象に、体験を通じて感じたこと、思ったこと、学んだことを作文にしてみました。

関心をより一層深めてもらうことを目的としています。

平成9年から毎年、開催されていて、今年で21回目を迎え、総参加者数は2万3千人を超えています。

今回は、20小学校、1団体からこれまで最高の1,828名の参加がありました。

最優秀賞の林野庁長官賞は、「みんなを支える森」と題して、学校林活動を通して、「森林は生き物を支えるなくてはならないものとして生きている」ことを学び、「森林を守りたい」と実感したこ

とを自分の言葉で素直に綴った甲府市立里垣小学校5年生の新澤 詩さんが受賞しました。

この作文コンクールは、次代を担う子供たちに体験学習を通じ、森林・林業の大切な役割について理解を深めてもらうため、これからも続けていくこととしていきます。

第21回森林は友達!作文コンクール受賞者一覧表 ※各賞五十名順

賞名	受賞者小学校名等	学年	受賞者名	作品名
最優秀賞 (林野庁長官賞)	甲府市立里垣小学校	5年生	いずみ 新澤 詩	みんなを支える森
優秀賞 (関東森林管理局長賞)	八王子市立みなみ野君田小学校	5年生	いしかわ 石川 朋子	ありがとう森林
優秀賞	八王子市立みなみ野君田小学校	5年生	おの 小野 美城	森林は生きている
優秀賞	中央区立佃島小学校	5年生	つかせ 高瀬 貴子	小さな幸せ
優秀賞	中央区立佃島小学校	5年生	たなか 田中 喜大	「森林はぼく達の宝物」
優秀賞	中央区立佃島小学校	5年生	たの 田野 美津希	森林の大切さ
優秀賞 (東京林業土木協会賞)	八王子市立上柚木小学校	5年生	おおはし 大橋 まこ 眞子	森林を守ろう
優秀賞	多摩市立蓮光寺小学校	5年生	おかわ 小川 かな 夏奈	森への感謝
優秀賞	甲府市立里垣小学校	5年生	せせが せせが 穂子	学校林活動で学んだこと、楽しかったこと
優秀賞	中央区立佃島小学校	5年生	やすき 鈴木 ころも	森林の大切さと今、私にできること
優秀賞	横浜市立谷本小学校	6年生	たけし 高橋 朋花	未来に森林を残すために
優秀賞	多摩市立蓮光寺小学校	5年生	たけし 渡辺 葉	すべての生き物に大切な森
努力賞 (東京林業土木協会賞)	多摩市立蓮光寺小学校	5年生	いした 石田 凛	森が教えてくれたこと
努力賞	八王子市立第三小学校	5年生	いせがき 伊勢崎 あい	ふれあい館での思い出
努力賞	相模女子大学小学部	4年生	おぐら 小倉 奏恵	私の緑の友だちをもっとふやしたい
努力賞	横浜市立山下みどり台小学校	5年生	かまづ 門松 さな 紗瓜	森のすばらしさ
努力賞	横浜市立横が丘小学校	4年生	かろう 加納 あいり 愛理	植物の大切さ
努力賞	八王子市立上川口小学校	6年生	くさね 黒沢 まこと 真琴	地球を救う森林
努力賞	八王子市立城山小学校	4年生	かわね 河本 菜優	いろいろ知れた炭焼き体験
努力賞	ガールスカウト千葉市協議会	6年生	あか 小林 美香	森林と海の関係
努力賞	横浜市立下田小学校	4年生	こむら 小室 唯花	つなげよう、未来へ
努力賞	八王子市立みなみ野小学校	5年生	さかい 櫻井 美希	森林教室で学んだ事
努力賞	横浜市立谷本小学校	6年生	さとう 佐藤 百合奈	森の力
努力賞	八王子市立片倉台小学校	5年生	せまむ 関根 瑛音	地球温暖化を防ぐために
努力賞	ときがわ町立明豊小学校	5年生	にしむら 西澤 古都音	森林教室で学んで
努力賞	横浜市立美しが丘小学校	5年生	のの 野元 雄太	大切な自然
努力賞	八王子市立みなみ野君田小学校	5年生	はたけ 田代 瑠菜	私たちに生活をもたらす森林
努力賞	東村山市立化成小学校	5年生	ひらの 平野 さくら	ふれあい森林館での思い出
努力賞	甲府市立相川小学校	5年生	あやの 宮澤 優那	小学校最後の学校林活動
努力賞	八王子市立七国小学校	5年生	むらた 村井 美優	森林教室を通して学んだ事



受賞者の皆さん

今月の表紙 高尾山自然休養林

高尾山(標高599m)は、都心(新宿)から西へ約40kmに位置し、古くから信仰の山として知られる霊山です。暖帯から温帯に移行する地帯にあたり、植物や昆虫、野鳥などの種類が豊富です。その美しい自然景観と信仰の山が注目され、昭和42年に「明治の高尾山国定公園」に指定されました。

林野庁は、昭和52年、真言宗の寺院である薬王院を除き、高尾山のほぼ全域の国有林を「高尾山自然休養林」に指定し、森林レクリエーションの場として関係機関と連携して整備してきました。

また、高尾森林ふれあい推進センターを置き、国有林を活用した森林環境教育などを行っています。

高尾山北側斜面に広がる温帯林は、イヌブナなどの落葉広葉樹が多く、4月から5月にかけて新緑を楽しむことができます。

